

YRPの街並み

外国を旅するとすばらしい風景や街並みに出会うことが間々ある。スイスアルプスのような自然の景観が見事な場合もあるが、田園風景や街並みがきわだっていることも多い。田園風景にしても町並みにしても自然を利用しつつそこに住む人々の知恵と努力で作上げた作品である。これらがすばらしいということはそれを生み出した人々がすばらしいといってもよいのであろう。国内にもすばらしい風景、街並みはある。今ではすっかり少なくなってしまった棚田などは自然と人間の知恵の見事な調和である。観光的なおいが強くなっているとはいえ京都、高山、木曾妻籠の街並みなどは長い年月をかけて個々の家が街との調和を図ってきた結果として出来上がったものではなかろうか。



しかし、日本の田園風景や街並みのなかには首をかしげたくなる場所が多いのも事実である。例えば、初夏の風にたなびく、みずみずしい稲穂が一面に広がる風景などは誰が見ても心なごむものがあるが、その中に電柱があたり農機具の収納小屋が建っていたり、はたまたところどころに住居が建っていたりする。おそらくその一つ一つに「距離が近いので能率的」などの合理性があるのだろうが、田園風景との調和は視野の外にある。話は飛ぶが同じようなことが個人の家についても言えるのではないだろうか。たまたに欧米人のお宅に何うと邸宅の内も外も極めてよく整理整頓され且つ調和がとれていることが多い。国内のお宅を訪問すると住宅事情を割り引いてもいまひとつであろう。また欧米に住んでおられる日本人宅の場合もいまひとつである場合が多いように思う。

残念ながら我々には「きれいに暮らす」ための努力が欧米人に比べて足りないのではないかと思えてならない。調和のとれた美しい街並みを完成させてゆくには、そこに暮らす人々のたゆまぬ努力が必要である。

株式会社 日立製作所 通信・社会システムグループ 主管技師長
横須賀リサーチパーク研究開発協議会幹事会委員 菱田 吉彦

横須賀リサーチパーク研究開発協議会コーナー

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が今後開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細は、YRPニュースやYRPホームページ等でご案内させていただきますが、講演会等については積極的にご参加下さいますようお願いいたします。

イベント予定

開催日	イベント内容
4月5日	第5回研究開発トレンド会議
4月7日	第4回総会
4月20日	ワイヤレスマルチメディア技術フォーラム 於:大阪 (主催:PIMRC'99国内委員会、大阪商工会議所、当協議会ほか)
5月19日	VTC2000 Spring YRPテクニカルツアー
5月23日	電子情報通信学会ITS研究会
6月7日～8日	関西地区産学官連携セミナー 於:京都市リサーチパーク

協議会コーナーつづき

シンポジウム開催のご案内

当協議会では「平成12年度情報通信月間」の参加行事として、7月12日～13日にYRPホールにて昨年に引き続き「YRP移動体通信産学官交流シンポジウム」を開催します。このシンポジウムは、大学から生まれた技術を企業との連携で実用化を図ることを目的に、産学官のマッチングの場を提供するものです。

(詳細は、<http://www.yrp.co.jp/event/aig/>へアクセス下さい。)

この他にも、4月20日大阪大学、大阪商工会議所、当協議会等との共催による「ワイヤレスマルチメディア技術フォーラム」を大阪の千里ライフセンターで開催されます。

(詳細は、<http://www.osaka.cci.or.jp/OCCL/sangyo-shinkou/gizyutu/>へ)

また、先月当協議会と業務提携した「京都リサーチパーク(KRP)」と初めて共催する「次世代モバイル通信フォーラム(仮題)」を6月7日～8日京都に於いて開催します。なお、YRP側からもキーノートスピーチや技術セッション等多数出席予定です。(詳細は、別途当協議会のホームページでご案内予定です。)



ミリ波国際シンポジウム「TSMMW2000」の報告



ミリ波国際シンポジウムが3月23日～24日にYRP1番館のホールで開催されました。このシンポジウムは、郵政省通信総合研究所およびYRP研究開発協議会が主催するものとしては第1回目ですが、1997年に最初

のミリ波国際シンポジウムを葉山の湘南国際村で米国アジア宇宙航空研究開発事務所の主催で開催されておりますので、正確には第2回目の国際シンポジウムです。今回も前回と同様に、電子情報通信学会とIEEE Microwave Theory and Techniques Society (IEEE MTT-S)に協賛をお願いしました。

2日間にわたって、150名近くの参加者があり、9つのセッションで論文発表が行われました。基調講演では、東北大学の水野教授、ダイムラークライスラー社のDR. Meinel氏によって最新のミリ波技術動向が紹介されました。また、一般の発表論文は32件(内招待講演は7件)、ポスター論文は20件でしたが、今回、特別セッション「Special Session Honoring Prof. Tukasa Yoneyama」が企画され、米山教授の業績を高く評価する講演者が7名の招待者により行われました。今後もこのような企画を行う予定です。

現在、YRP共同研究グループの1つとして「ミリ波映像多重伝送システムグループ」がありますが、本グループが中心となって現在開発中のシステムのデモンストレーションをシンポジウム開催中に参加者に見て頂く機会を、Technical Exhibitionとして設けました。CRL横須賀無線通信研究センターの成果の一部も展示しました。この展示は会議参加者以外でも見学できるように企画しました。このようなことができるため、シンポジウムのYRPにおける開催には大きなメリットがあります。単なる論文発表の場としてではなく、技術討論が活発に行われる国際シンポジウムを企画して行く予定です。

次回、第3回目のミリ波国際シンポジウム(TSMMW2001)は、2001年3月5日～6日にYRP1番館のホールで開催される予定です。皆様の積極的な参加を期待しております。

協議会のホームページ更改のお知らせ

遅くなりましたが、当協議会のホームページを3月8日に全面改訂いたしました。

主な改訂内容は、①協議会の概要、②最新のイベント、セミナー情報、③トピック掲載、④研究環境・設備や新たに、Yrp key Word、交通アクセスの見直し等を行ないました。

これからも、皆様に親しまれるホームページ(URL <http://www.yrp.co.jp>)にするよう、スタッフ一同励んでまいりますので宜しくお願い致します。なお、今後はWeb上でイベントやセミナーの受付が出来るよう利便性の向上にも努めて行きたいと思っております。

横須賀リサーチパーク推進協会コーナー

第2回「最先端の情報通信フェア2000」好評のうち終了

3月11日～12日に行われた第2回「最先端の情報通信フェア」は、前回は上回る3,000人余の参加者がありました。参加者の8割以上は国内外118校にのぼる大学院・大学・短大・専門学校(理系が中心)からの学生で採用情報・業界動向の収集といったリクルーティングを目的とした来場者が多く、情報通信界のトップによる特別講演・企業紹介ブース等盛況のうち終了しました。



当推進協会「第10回総会」開催される

当推進協会は、4月4日に「第10回総会」を開催しました。今回の総会では会長である徳田修造氏が退任され、新会長に麩 昭男氏が選任されました。

なお、平成12年度の役員は以下のとおり選任されました。

会 長	放送大学学園理事	麩 昭男 氏
副 会 長	横須賀市助役	井上 吉隆 氏
会計監査	日本政策投資銀行情報通信部長	間瀬 茂 氏
会計監査	横須賀商工会議所専務理事	鈴木 泰浩 氏

YRP視察情報



3月9日(木)
タイ国家科学技術
開発庁
パイラート長官視察



3月15日(水)
デンマーク大使視察

(株)横須賀テレコムリサーチパークコーナー

フリーマーケットの開催及び出店者募集について

毎年4月29日(みどりの日)に、当社と京浜急行電鉄株の共催でYRPセンター地区におきまして、YRPのPRを兼ねた「YRPふれあいマーケット」を開催しています。

当日は、市民の方々にもご参加いただきフリーマーケットを開催いたしますが、進出企業の皆様にもぜひご出店いただきたいと思っております。なお、募集数は15ブースとなり、応募多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承下さい。

「開催概要及びご出店要領」

開催日時	平成12年4月29日(みどりの日)
開催場所	センター地区中庭及び同周辺の歩道上
ご出店料	1ブース : 1,500円
応募方法	ご出店希望者は、次の項目を記載した書面を4月14日(金)までに(株)YRP総務部へ (Fax 0468-47-5010)

- ① 会社名
- ② 氏名、年齢
- ③ 自宅郵便番号、住所、電話番号

研究所紹介コーナー

通信・放送機構(TAO)横須賀ITSリサーチセンター

ITSは、交通事故・交通渋滞・環境問題など様々な問題を解決する切り札として国土の情報化と経済の活性化を担い、新市場の創出・雇用の確保のために、21世紀のリーディング産業として大きな期待が寄せられています。特に、急速に進む情報通信技術革命によりITSの実現は我々の身近なものになりつつあります。

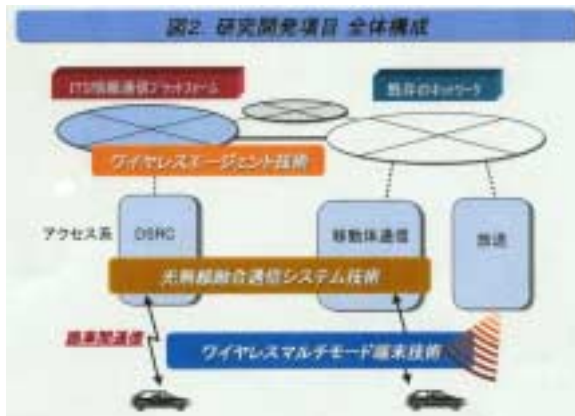
通信・放送機構では、平成11年度より「ITS実現のための情報通信技術の研究開発」プロジェクトを立ち上げ、移動体通信の研究拠点であるYRP地区に、横須賀ITSリサーチセンターを発足させて、研究開発を開始しました。本プロジェクトのスローガンとしては、これまで単なる移動手段であった自動車を「動くオフィス」へと進化させることがITSと捉え、その実現に向けて産学官の協力のもとに、研究開発を推進しています。図1に研究開発実施体制を示します。

プロジェクトリーダーに学術情報センターの羽鳥教授、サブリーダーにITSに造詣深い4名の大学の先生方を迎えて事務局長と研究者15名による3グループの体制をとっています。



研究開発テーマとしては、ITSの早期実現に不可欠であると考えられる「ワイヤレスエージェント技術」、「光無線融合通信システム技術」、「ワイヤレスマルチモード端末技術」の3つを取り上げ、これらの研究開発を進めることにより、ITS情報通信システムの普及を推進しております。図2に研究開発の全体構成を示します。

上記3つの技術開発を行うことにより、以下の点が期待できます。



- ① 複数のワイヤレスネットワークをシームレスに利用するワイヤレスエージェント技術：広範囲に移動する車に対して、その位置を把握し、その位置に応じて利用可能な最適な通信路、情報形式を選択し、シームレスな情報提供を実現します。また、多数の利用者に対して各種ITSサービスが利用できる効率的な情報配信技術を実現します。
- ② 複数の無線サービスをファイバを通じて伝送する光無線融合通信技術：ROF (Radio on Fiber) 技術によりITS共通インフラとして路側ネットワークが実現できます。また、路側アンテナビームを車のトラフィック量に応じて適応的に制御する技術の実現により、

チャンネル数やゾーンの大きさをフレキシブルに変えることが可能となります。これらにより電波形式の違う様々な情報を一台一台の車に適確に送ることができるようになります。

- ③ ITSの様々なサービスの追加・更新が車載端末のソフトウェアを無線によりダウンロードするだけで可能となるワイヤレスマルチモード端末技術：一台の車載端末で各種サービスが受けられるフレキシブルな端末となるため、ユーザの操作性が向上し、安全で快適なドライブをサポートすることが可能となります。

なお、研究開発の実証実験として、各テーマ毎の実証実験を平成12年度末、3テーマ合同の実証実験を平成13年度に予定しております。(本文の紹介文は、通信・放送機構よりご提供頂いたものです。)

編集・発行 横須賀リサーチパーク推進協会

〒239-0847 横須賀市光の丘5 TEL:0468-40-4100 FAX:0468-40-4101

横須賀リサーチパーク研究開発協議会

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5008 FAX:0468-47-5010

(株)横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5000 FAX:0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp>